

旅館が提供できるサービスとは

「ありがとう運動」の具体的展開について シンポジウム

学校が望む旅館のサービスとは

○基調講演・助言者

立教大学社会学部観光学科
教授 前田 勇

○コーディネーター

(財)全国修学旅行研究協会
本部修学旅行部長 井桁 孝

○パネリスト

千葉県柏市立中原中学校
教諭 柿久保一男

兵庫県西宮市立浜甲子園中学校
校長 中村 実男

京都 ホテル新門荘
取締役社長 山内 義信

河口湖レークサイド大屋ホテル
専務取締役 中村 茂

近畿日本ツーリスト株式会社
新潟支店次長 長谷川秀雄

「修学旅行サービス向上キャンペーン」を実施している近畿日本ツーリスト協会の定例修学旅行研究部会、石井常雄部長（京都・石井旅館）以下約三百名が七月二日都ホテル東京に参集し、第六回全体会議を開催した。その際行われたシンポジウムの概要は次のとおりである。紙面の都合で一部割愛、敬称略



過剰サービスはマイナスに

千葉県柏市立中原中学校
教諭 柿久保 一男

本校は、千葉県柏市、首都圏のベッドタウンの中にあって、新興住宅地の中の学校です。三年生五クラス一七五人の小規模校に当たります。

それでは、私から次の二点について話します。第一点は、修学旅行における交流会についてのきつかけと事前、当日、事後指導、第二点は学校の旅館に対するサービス要望です。

まず交流会ですが、十一月に下見に行ったとき、エージェンツ・ホテル・学校の三者で雑談の中から話が出ました。北海道の恵み野中学校が花巻のホテルに来るので、学年の規模もほぼ同じくらいであり、交流会を開いてみてはどうか、と。

大変不慣れですが、よろしくお願いを致します。様々な社会情勢の変化は、修学旅行を実施する学校側にも、それを受け入れる旅館、旅行業界にも、いろいろな問題を投げ掛けてまいりました。

ここに集まりたい方々はある意味でその利害が相反していると思われ、害が相互に及ぶと申しあげてもよろしいかと思えます。サービスを受ける側と提供する側というところから、サービスをたぐさん欲しいという、旅館の方で困ったなというところになります。しかしこのようにことを申しておても、修学旅行のあり方を決めることにはなりません。したがって、このシンポジウムにおきまして、

過剰サービスはマイナスに

このことが発端になりました。非常にラッキーだったことは、エージェンツが同じであったこと、そして、ホテル側の設備が非常に整っていること、生徒指導の面で学校のトラファルが予想されないという判断ができたこと、北海道と千葉と遠く離れていること、それに私どもの学校は連泊であったこと、このようなきっかけで、エージェンツを仲介して話合いを進めていきました。

事前の取組は、最初はエージェンツの方で進めてもらいました。行程、相手の様子など情報をいただき、その後は学校間の話し合いになりました。交流会のプログラム、記念品などがそれぞれあります。今なぜ、この問題を取り上げるのか、それは、ここにきていたたそれがお互いの立場で自問をしてみたいというき、基調となる問題提起がいたったのではないかと考えております。

パネリストの方々の御紹介申し上げます。

まず学校側から、兵庫県西宮市立浜甲子園中学校長の中村実男先生でございます。続きまして、千葉県柏市立中原中学校第三学年主任の柿久保一男先生でございます。旅館側を代表しまして、河口湖レークサイド大屋ホテル専務取締役の中村茂氏でございます。京都ホテル新門荘取締役社長の山内義信氏でございます。最後に、近畿日本ツーリスト株式会社の社務部長の長谷川秀雄氏でございます。また先ほど基調講演をいただいた立教大学の前田勇先生には、討議の中で御助言をいただくことも、最後に御感想をいただきたいと存じます。

本日のシンポジウムのテーマは「ありがとう運動の具体的展開について」ということです。サブテーマとして「学校が望む旅館のサービスとは」ということになっております。

パネリストの方々から、修学旅行における旅館のサービスについての考え方を発表し、また、それぞれの立場でサービスについての問題点や課題を提示していただきます。

◇

それではパネリストによる御提言をいただきます。

二層ぐらいの部屋でくつろぎたいという意見が出ています。裸の付き合いが大事だということ、大きな浴室でゆとりのある時間が欲しい。食事については、やはり名産、普段食べられない物を食べてみたい、これは旅館側からみれば、わがままかもしれませんが、生の声としてお聞きいただきたい。

最後に、エージェンツの方は、仲介の役というところで、学校と旅館の問題点を相互に伝えていただきたいと思えます。

学校のやるべきこと、エージェンツ、旅館の役割をきっちりやること、お互いサービスされたという気持ちになるのではと考えています。

まとめませんが、今後の話の問題提起になってもらえればと思っています。

東京湾内洋上教室

たくましく活動する臨海工業地域や、美しい自然を残す海洋地域など、ふだん教室では学びにくい海洋、船舶、歴史、地理、生物等についての生きた教材を大型客船を利用して積極的に学習する新しい企画です。

特長

- 各学年単位で大型船が利用できます。
- 貸切形式のため他校との混乗はありません。
- バスを利用した校外学習程度の費用で実施できます。
- 東京湾内の航行のため船酔いの心配は一切ありません。
- 社会科見学、遠足、卒業記念等、各学年にわたりご利用できます。
- 雨天でも実施できます。

料金 消費税を含みます。

高校生(1名)2,370円、小・中学生(1名)1,850円

※300名未満の人員でご利用の場合は300名様分の料金を申し受けます。

伊豆七島移動教室

大型客船から双胴高速船まで、海洋国家・日本の技術の粋を集めた船舶との出会い、そして太平洋に浮かぶ伊豆七島との出会い。生徒たちはハイキング、バスハイ等を楽しみながら、地学、植物学、動物学、民俗学の生きた教材にふれることができます。

素晴らしい船の体験クルーズ

洋上体験旅行

船の旅ならではの広い生活空間と時間的ゆとりを学習の場として最大限活用し、外界から独立して船内生活を通じ、生徒同士、又は教師と生徒との相互理解を深めることができます。

モデルコース

鳥羽・高松・白浜

第1日	東京19:00発	船中泊
第2日	8:00鳥羽着	(鳥羽観光)
第3日	17:00発	船中泊
第4日	9:00高松着	(高松観光)
第5日	21:00発	船中泊
第6日	8:00白浜着	(白浜観光)
第7日	17:30発	船中泊
第8日	17:00東京着	

●貸切船ですので、その目的地、航路は国内ならどこへでも自由に設定できます。日程・コース、費用等につきましては、お問い合わせください。

心にとる船の旅

東海汽船

●お問い合わせは—
東海汽船営業課学校担当 ☎03(3436)1144又は貴校指定旅行代理店まで

